

『もろこみ』キャッシュ・バックキャンペーン実施中!

「頭金0円」、しかも「登録時諸費用」や乗っている間の「車検基本料」、「自動車税」、「自賠責保険料」、「自動車重量税」すべてが月々税込み1万円に含まれています。さらに、車を返却する必要もありません。

「私は、一日300円で

車を買いました。」



カーコンビニ倶楽部 〒108-0075 東京都港区港南2-11-19 大滝ビル
☎0120-0120-55 <http://www.carcon.co.jp>

『車業界の転換期(4)』

北朝鮮との外交問題が日々複雑になり、日本の防衛問題やカントリリスクが大きくなってきている。一方で、人工知能を搭載した無人運転車や環境対応の電気自動車は、まさに秒単位の進歩である。

先日とあるホテルでテスラの試乗会があった。現在テスラは、わが国で2000台ほど販売されている。驚くことに懸念されていた充電ポイントも現在のガソリン給油所が約3万カ所、電気自動車の充電スポットは2万カ所、と飛躍的に伸びている。

少しテスラの話をする、未来の車と呼ぶにふさわしく、国が定めている自動運転の5段階のうちの4段階までは既に装備されているとのこと。我が国の道路交通法及びそれに関連する法律が制定されるのにあわせて、装着されている技術が解放され、車の機能をスタートさせていくと言う。つまりシステムロックを解除していくのだそうだ。

スマホをコントロールし、自動的に駐車場に入れるのを見せられたが、確かに完璧である。高速道路での距離測定による自動停止装置などをはじめ、一般道の走行に必要な自動運転システムは、ほぼ完成している。Googleの地図データとタイアップした目的地までの自動運転のシステムまで搭載して、あとは法律の整備待ちというところだ。

そんなわけで、この数年で未来の車社会が現実となってくる。こんな状況の中で確信しているのは、カーコンビニ倶楽部の存在が今までよりはるかに重要になってくるということだ。

最近、若者の免許証離れや節約志向などが著しい。未来への文明の変化に対応しようとしている表れではあるまいか。したがって、若者を取り込むという意味でもカーコンビニ倶楽部にとっては歓迎すべきトレンドである。

現在行っているもっと車を身近に、簡単に所有してもらうための「もろこみキャンペーン」や大量生産大量廃棄のアンチテーゼとして提案している中古車の有効利用を促す「カーコン・マーケット」など、現在の社会から未来につながるステップとして重要な仕事だと考えている。

あらゆるシステムを装備した新しい車が社会に普及すると、そこにはお客様のニーズが発生する。商品に対する様々な相談や悩みが起ころはずで、それらは機械的にネットで消化できるものではない。やはり加盟店の皆さんの心温まるお客様への指導や教育があつてこそきちんと伝わり普及していくものなのだ。

新しい時代はすでに始まっている。頭を切り替えたほうがシンプルでハッピーなのである。



林 成治 Seiji Hayashi
出身:北海道 青山学院大学経営学部卒業
1981年4月:プロミス株式会社入社
2008年4月:同社執行役員就任
2008年8月:カーコンビニ倶楽部株式会社 常務取締役就任
2008年10月:同社代表取締役就任
2009年8月:バル債権回収株式会社 常務取締役就任
2010年4月:株式会社Do フィナンシャルサービス取締役就任
2011年1月:同社取締役退任
2011年1月:カーコンビニ倶楽部株式会社 代表取締役就任